

令和7年度ひみ未来づくりミーティング議事録（藪田地区）

日 時	2025/9/24 19:00～
場 所	泊コミュニティセンター
出席者	14名 市長、政策統括監、総務部長、企画政策部長、市民部長、産業振興部長、建設部長、教育次長、防災・危機管理監、消防管理監、地域振興課、地域担当職員
進 行	19:02～19:05 市長あいさつ 19:05～19:07 出席者紹介 19:07～19:35 市政の概要について（市長説明） 19:35～20:16 意見交換 20:16～20:19 閉会あいさつ 市長、地区代表

	質問の内容	回答
1	<p>■まちづくりについて 復興まちづくり会議でまちづくりについて話し合われていたが、対象となるのは被害が大きかった地域だけなのか、市全体で氷見の未来を考える時期に来ているのではないか。 災害対策について、民間の力をもっと取り入れるべき。</p> <p>若い人にとって、持ち家は負の遺産となりつつある。氷見市全体でランドデザインを描いていくべき。若い人が出ていかなないようにするにはどうしたらいいか、みんなで考えてはどうか。</p>	<p>■政策統括監 人口が1割近く減少した地区を対象に「復興まちづくり会議」を開催している。（姿、新道、北大町、中央町）地域でどのようにしていくかをまず決めていただくこととしている。</p> <p>■企画政策部長 令和8年度に第9次総合計画後期基本計画を策定する。土地の活用についてはその際によく検討する。集落ごとには拠点があるが、藪田地区全体の拠点が無いものと認識している。新しいものを作るのはなかなか難しいので、既存のものをうまく活用していただきたいと考えている。</p>
2	<p>■指定避難所について 地区の拠点となる場所（旧小学校）がないため、何かあったときに集まれる場所がない。市の指定避難所がない。能登半島地震のとき、山に上がって避難したが、そのあと行き場がなかった。</p> <p>灘浦の地区で合同防災訓練を行ったときに、ヘリポートを作れないか、作業道を作れないか、プレハブ小屋を立てて、キャンプ道具を持ち込み普段は「防災公園」としてキャンプなどができるようにしてはどうか、などの意見があった。</p>	<p>■防災危機管理監 民間事業者と提携するなど、地域の方の意見をぜひいただきたい。防災公園についてはとても良いアイデアと思う。備蓄倉庫設置の補助制度を設けているので、ぜひ活用していただきたい。</p>
3	<p>■160号線の雨量規制について 160号線が基幹道路となっている。雨量規制が厳しい。観光や環境に配慮した整備を進めていただきたい。</p>	<p>■建設部長 雨量規制については、国が土砂崩れの危険があるため規制を行っている。宇波～藪田区間においては、連続雨量による事前通行規制基準が140mmから160mmに緩和されたところである。現在、国において引続き防災対策や交通安全対策を実施していることから、整備促進を市の重点要望として国交省、河川国道事務所に要望している。続けて要望してまいりたい。観光や環境の面についても国へ伝えたい。</p>
4	<p>■国道の整備について 海岸線を楽しめるように国道をもう少しきれいに整備して（使いやすくして）ほしい。</p>	<p>■市長 市のまちづくりのイメージは共有していく必要がある。被害が大きかった地域だけでなく、全体として考えてまいりたい。</p>
5	<p>■防災について 避難所に簡易テント、簡易ベッドが用意してあるとよくテレビで見た。氷見市にも準備があり、市から供給してもらえるのか。</p>	<p>■防災危機管理監 数に限りがあるが、供給する。順次数を増やしていこうとしているところである。</p>

6	<p>■外国人への配慮について 外国人(ミャンマー、台湾)の方にゴミの出し方を教えるために、外国語のパンフレットは無いかと市の窓口で尋ねたが、無いとのことだった。インバウンドのこともあり、看板など、身近な生活にかかわることで外国語版があればよい。</p>	<p>■市民部長 窓口に来られる事業所で雇われた外国人の方には、日本人の方が付き添っているという認識であった。そのような人がいない場合もあると今のお話でお聞きしたので、課に持ち帰って検討いたしたい。</p> <p>■産業振興部長 本市のインバウンド対策はまだ弱い。どの国をターゲットにしていくかも含めて、観光協会等と検討してまいりたい。</p> <p>■市長 看板すべてを付け替えるのは難しいが、インバウンドについて力をいれていきたい。</p>
7	<p>■分別のゴミの出し方について LINEだとわかりにくいので、冊子などを配付(再発行)などしてもらえないか。また発行年次もだいぶ古いのではないか。 携帯の電波も悪いため、ネット検索は使い勝手が悪い。</p>	<p>■市民部長 平成30年に発行している。ご意見を頂戴した。予算確保等も必要なので、検討してまいりたい。 リチウムイオン電池の処理の問題も出てきたので、見直しも含めて検討してまいりたい。</p>
8	<p>■若い人の出会いの場について 市の事業でお見合いパーティーをしているようだが、若い人の出会いの場をこれからも継続してほしい。外国人の若い方が多い。国際結婚なども視野に入れてはどうか。国際交流の場にもなるのではないか。</p>	<p>■企画政策部長 市の婚活支援は「おせっかいさん」という方たちの活動とイベント開催をしている。このイベントは高岡、小矢部とも連携して行っている。また、マッチングアプリの事業者と連携している。若い人の出会いの場というのは多様化しているため、それに対応するような形で取り組んでいる。外国人も定住を希望される方であれば、登録していただいてもかまわない。</p>
9	<p>■高齢者の楽しめる場所について 藪田地区は比較的元気な70代、80代が多い。寿養荘がなくなったことにより、元気な高齢者がどこかへ行って楽しめる場所がない。迎えに来てもらうのではなく、自分でバスに乗って行くというのは、ハードルが高い。もっと気軽に地域外の友達と楽しめる、友達と一緒に出かけられるような場所があればよい。</p>	<p>■市民部長 今まで、eスポーツや100歳体操など、地域の中で集まる機会づくりに取り組んできた。地域外の活動は「ひみのわ」というものがあり、eスポーツなどを開催している。これからも活動を増やしていきたい。</p>
10	<p>■ひみのわについて ひみのわ(eスポーツ)に参加している状況を教えてください。</p>	<p>■市民部長 のべ75名の参加がある。 市の体協も力を入れてくれており、ふれスポでeスポーツのイベントを開催している。 100歳体操は女性の参加が多い。eスポーツは男性の参加もあるという話を聞いている。幅広い方の参加を期待している。</p> <p>■市長 本市は健康寿命が県内でも長い。どんな方法があるか意見を聞き取り組んでまいりたい。</p>
11	<p>■農業の後継者について 藪田営農は七町規模の経営をしている。後継者もおらず、国が進める農地の集約化をどう進めるか。規模が大きくなれば経営も安定すると思うのでよろしくお願したい。</p>	<p>■産業振興部長 後継者と農地の集約化は本市の非平野部全体の課題である。JA、農業経営体と話し合っている。農林畜産課が地域に入って、今後どうしていくか話し合おうとしている。</p> <p>■市長 市としても農地集約化をどうしていくかしっかり考えてまいりたい。</p>

12	<p>■能越自動車道につながる道について 能越自動車道につながる道を、緊急時だけ使えるような計画などはないか。</p>	<p>■建設部長 現時点では計画はない。今は徒歩で避難するようになっていることもあり、自動車避難できるようにするために国に要望してまいりたい。</p>
13	<p>■避難所の設営について 民間事業所との連携とあったが、民宿などを想定しているかと思うが、受け入れる側(事業者)のメリットは何かあるか。</p>	<p>■防災危機管理監 財政的なメリットは提示できないが、地域の方の生命を守るという点でご協力をお願いしたい。全国の事例も調べて、参考になりそうな事例があれば検討してまいりたい。</p>